

令和4年度 美術科 第1学年 年間指導計画

学期	月	時数	学習内容	評価規準			ICTの活用
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的活動	
1学期	4月	1	オリエンテーション				
	4月 5月	3	教科書を通して美術全般について知る。色彩を学ぶ。 グラデーション	美術とは何かを知識として知り、関心を持つ。色の仕組みを学び、作品作りへの意欲を持つ。	美術が関係している事象に気が付く。	色彩の基本である階段状に差をつける。	
	6月 7月	5	レタリング ポスター	字体とは何かを知り、使ってみようとする。課題としたポスター題材を見て、内容について深める	どのような場面で使えるか考える。ポスターの役割を知りデザイン性や内容について構想する。	正確に字体を把握し、実際に使うことができる。文字コピーや色彩、わかりやすく印象の残るイラストなどが描ける。	タブレット
	7月	1	ポスター	課題としたポスター題材を完成形にしていく。	内容についてよりよく発想する。	色彩の塗り方など確認して丁寧に仕上げる。	タブレット
2学期	9月 10月	8	エッチング	版画の種類を確認し、日常生活の中で使用されていることを知り、関心を持つ。	靴の絵を描きます。自分の持ち物に愛着を感じてその思いを表現する。	エッチングの様々な工程を確実に実行している。	
	11月 12月	8	加工粘土で作る食品サンプル	食器について意識をし、何が大切なのかを考える。食品サンプルが持つ魅力を意識してみる。	新しい取り組み方として発想し、より興味がわきそうな形を構想していく。	加工粘土で作るための手順や工程、着色などを丁寧にやる。粘土の保存について意識をもち、期間内に完成できる。	タブレット
3学期	1.2月	9	加工粘土で作る食品サンプル	食器について意識をし、何が大切なのかを考える。食品サンプルが持つ魅力を意識してみる。	新しい取り組み方として発想し、より興味がわきそうな形を構想していく。	加工粘土で作るための手順や工程、着色などを丁寧にやる。粘土の保存について意識をもち、期間内に完成できる。	
	3月	4	細密描写デッサン	描写する基本を学ぶことで何かを描く力をつける。	モデルが見えている角度によって表現に工夫が出来る。	描写力は、写実的な表現としての技能となる。	

評価計画

【各観点ごとの評価方法】

評価資料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的活動
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・用具材料の準備 ・提出物 ・準備・後片付け ・資料収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・完成作品 ・定期考査 ・アイデアスケッチ ・制作計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成作品 ・制作過程 ・用具の使い方 ・完成予想図